

Molding Putty

6225タブマジックモールディングパテは、無毒で耐熱性のある2液型の成形可能な柔軟なシリコンラバーです。タブマジックは、壊れたヘッドライトタブの細部の形状を復元するために使用されます。

多くのヘッドライトタブには、復元が非常に難しい複雑な形状があります。ヘッドライトタブが車両の所有者に見える場合は、修理は、元の外観に再仕上げする必要があります。ポリバンスの6225タブマジックモールディングパテは、タブの元の輪郭を損なわずに、裏側の溶接が化粧面の側面構造に損傷を与えるのを防ぎ、これらの複雑なタブの修理と再仕上げを簡素化するのに役立ちます。

タブマジックを使用するには、混合コンパウンドを溶接が必要なヘッドライトタブの表面と側面を型取りし 15分硬化させた後、タブマジックは、固くなり、ヘッドライトタブの細部をしっかりとサポートし、ポリバンス窒素プラスチック溶接機で裏面を溶接するための金型を作成します。溶接部が、冷却された後、柔軟なタブマジックパテを剥がして、仕上げにわずかな作業が必要なほぼ完成したタブを再現することが可能です。タブマジックモールディングパテは再成形できませんが、同じタイプのヘッドライトタブで再利用できます。



Features:

- ・無毒のシリコン2液型パテは、わずか数分で簡単に混合および成形できます。
- ・硬化し、約20分で完全に保持されますが、簡単に取り外せるように非常に柔軟なままです。
- ・シリコン熱硬化性配合物は、硬化後、耐熱性があります。

Benefits:

- ・ヘッドライトタブの修理をスピードアップして簡素化します。
- ・裏側が溶接されている間、多くのヘッドライトタブに見られる細部を保持します。
- ・OEMの外観を復元するために、ヘッドライトタブの上面に必要な再仕上げ作業を最小限に抑えます。
- ・高価なヘッドライトを修理できることと、ヘッドライトを捨てることの違いを生むことができます。
- ・高品質の修理ツールと優れたカスタマーサービスに対するポリバンスに支えられています。

キットサイズ:

100 g (3.5 oz) Total

50 g (1.75 oz) A-Side (ホワイト)

50 g (1.75 oz) B-Side (グリーン)

(平均サイズ 3 - 4 回の修理に十分な量になります。)



6225 INFO SHEET.indd 10/2020

Polyvance
ADVANCING POLYMER REPAIR

Polyvance authorized international master distributor

ポリバンス 日本総代理店

有限会社ティークラフトポリバンス事業部

TEL:0564-28-5319 FAX:0564-28-5399

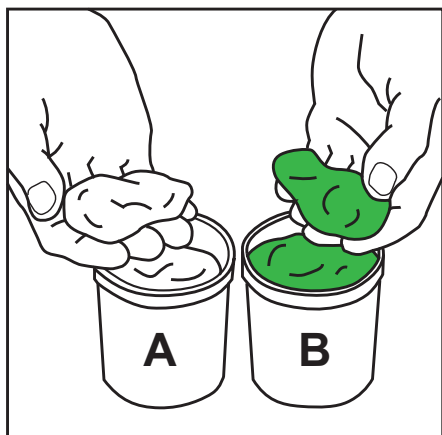
E-mail:info@jyusiripea.com URL:https://jyusiripea.com



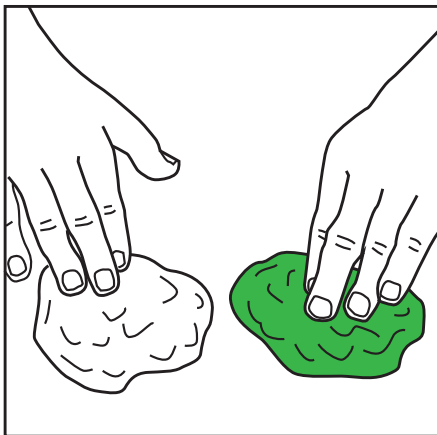
下記販売店までどうぞ

ポリバンスタブマジックモールドイングパテは、窒素プラスチック溶着修理を実行しながら、多くのヘッドライトタブに見られる複雑な機能を保持するのに役立つ2つの部分からなる室温加硫（RTV）シリコーンゴム成形パテです。タブマジックは、室温で安全で無毒です。タブマジックは使いやすいです-これらの簡単なステップバイステップの説明に従って、パートAとパートBを手で等量混合し、ヘッドライトタブに押し込むだけです。

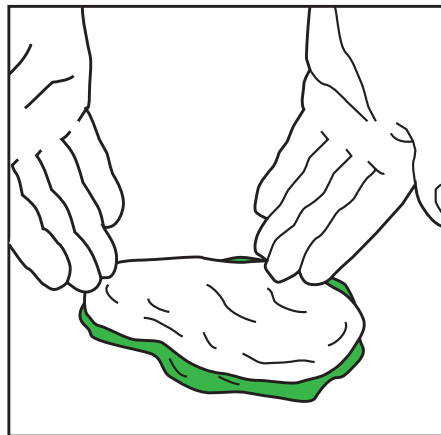
使用方法



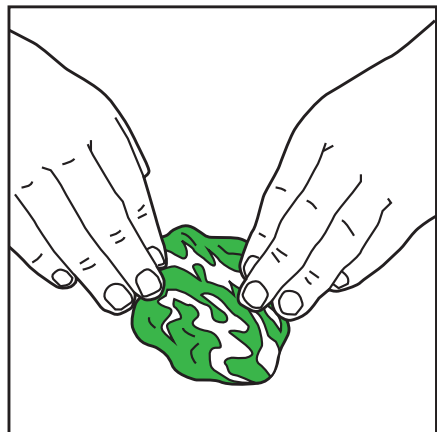
ステップ1-ほぼ等しい量のパートAとパートBのパテを瓶から取り出します。



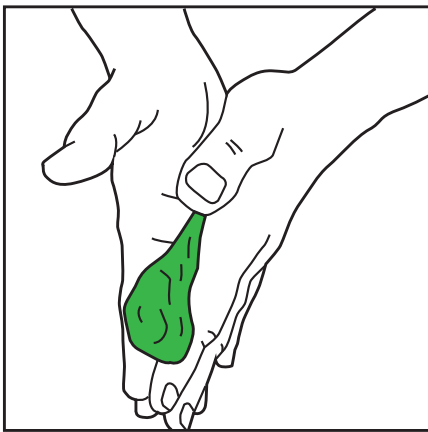
ステップ2-きれいな表面で、両方の部分の同じサイズの「パンケーキのような形状」を作ります。1つが大きすぎる場合は、余分なものをはさみ、後で使用するために瓶に戻します。



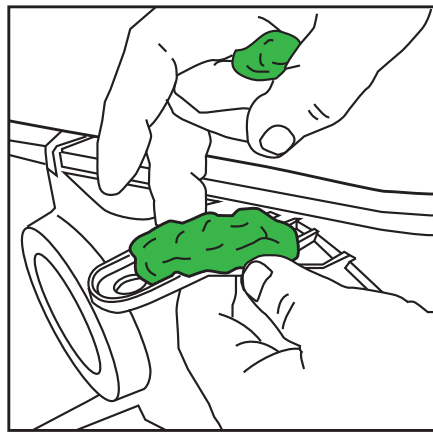
ステップ3-混合の準備として、パンケーキのような形状を互いに重ねます。



ステップ4-手で押してこねることで、2つの面を混ぜ合わせます。ゴムが固まり始めるまでの混合時間は約2分なので、すばやく完全に混合します。



ステップ5-白の縞がなく均一な緑色になるまで、両面をこねて混ぜます。



ステップ6-修理したいエリアのヘッドライトタブに混合パテを適用します。パテをタブの形状に隙間が出ないようにしっかりと押し込みます。側面もパテを入れこみしっかり厚みを持たせ形成後硬化するまで待ちます。（硬化時間は20分）冷間時は、ドライヤー等で温めると硬化が促進されます。

⚠ 警告：タブマジックモールドイングパテのシリコーンゴム組成物は、窒素プラスチック溶着中にさらされる可能性のある高温に耐性がありますが、意図的な過熱は分解を引き起こし、少量のホルムアルデヒドを放出します。